

基礎研究・人材育成部会構成員による意見(課題)について

【基盤経費】

- 基盤経費が減額され不足しており、人件費を賄うので精一杯<複数>

【研究活動】

(研究課題)

- 研究費が採択されそうな流行分野(安全・安易・独創的でないテーマ)に研究課題が集中<複数>
 - ・ 国家施策全体の分野ポートフォリオの戦略不在

(支援体制)

- ・ 柔軟な支援体制の構築必要
- ・ プロジェクトとしての拠点形成の機関終了後の在り方

(研究費)

- ・ 実質的に研究者個人の補助となっている
- 書式が煩雑であるなど、使い勝手が悪い<複数>
- ペーパーワークに時間がとられ、研究専念時間が減少<複数>
 - ・ スタートアップ時の研究費が不足

(評価)

- 論文業績や短期間での成果評価を全面にした状況は基礎研究を行いにくくしている<複数>
 - ・ 研究費の配分が公平な評価に基づいていない
- 研究者の業績／能力の客観的評価が不十分<複数>

【教育】

- 大学院の人材育成目標(人材像)や考え方の抜本的見直し(明確化)<複数>
 - ・ 度重なる改革による教育現場が混乱
- 国際レベルでの基礎学力・英語力の劣勢<複数>
- 教育(教員)に対する評価制度が皆無に等しい<複数>

【若手人材確保】

- 意欲や向上心の高い学生に対するインセンティブの不足(意欲ある学生の減少)<複数>
 - ・ 奨学金等経済的支援不足<複数>
- 学生・研究者の流動性が低い(若手のポスト不足)<複数>
 - ・ 自然科学系の研究者に年齢的なヒエラルキーが強すぎる(高齢教員の増加と継続雇用)
- 博士課程修了者の狭い進路(キャリアパス閉塞感)<複数>
 - ・ 就職活動・内定時期が早すぎる

【国際化】

- ・ 外国人研究者に魅力的な環境不足
- 国際的な研究協力不足(閉じこもり過ぎる)<複数>
 - ・ 国際ネットワークの形成必要
 - ・ 海外に行きたい気持ちをもつ学生の後押し

基礎研究・人材育成部会構成員による意見(解決策)について

【基盤経費確保】

- ・ 毎年億単位の資金を数年にわたり継続的に大学に交付する制度の創設
- 3割の間接経費を確実に措置するとともに、間接経費比率をアメリカ並みに拡大<複数>

【研究活動】

(先端的・独創研究課題確保)

- ・ 科研費制度の抜本的改革
- 少額の研究費の採択件数増<複数>
 - ・ 継続及び新規採択された新学術領域・特定領域・特別研究促進費の採択課題に類似する研究提案は積極的に採択しない
 - ・ 2人以上の異なる研究者からの類似した研究提案は、それら全ての研究提案を採択しない
 - ・ 長期(最低5年間)の少額研究費を交付
 - ・ 強いところを伸ばす施策の推進

(研究時間確保)

- サバティカル制度の創設<複数>
 - ・ 研究専念ポジションの奨励

(支援体制)

- ・ 十分多額のスタートアップ費用を配布
- ・ 個人を主眼にした柔軟な支援体制

(研究費)

- ・ 研究資金の基金化
- ・ 5年程度は安定的に、評価もなく、研究者が自由に使用できる研究費確保
- ・ 世界の情勢や国民の選好性・国の状況などに基づいた研究費の配分

(評価)

- ・ 学術振興会独自の評価方式
- ・ 研究評価制度の研究を専門とする部門の創設
- ・ 研究の価値に踏み込んだ評価の併用
- 日本発の評価システムや解析手法の開発<複数>
 - ・ 米国等の研究者評価方法の導入検討
 - ・ 審査評価に対して(米国並みの)より多くの人材とコストを割く必要
 - ・ 企業のアセスメント制度や評価制度を導入

【若手人材確保】

- 学費免除<複数>
- 返還義務のない奨学金拡充<複数>
 - ・ 博士課程修了者の活用体制の強化
- インターンプログラムの充実<複数>
 - ・ 申請者本人の人件費を負担する研究資金の導入
- 早期退職制度の導入<複数>

【国際化】

- ・ 英語での研究費申請を可能にする
- ・ 海外の研究者を巻き込んで研究テーマを設定するような仕掛け
- ・ 国際ネットワーク形成支援策の充実
- ・ 国際化を支援する財源措置
- ・ 留学制度の充実
- ・ 海外著名研究所への派遣支援